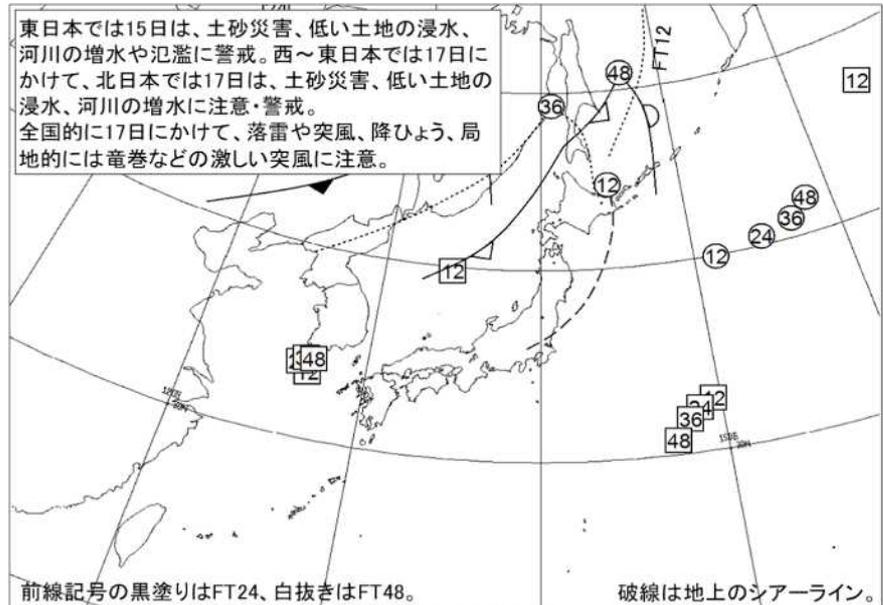


### 1. 実況上の着目点

- ① 低気圧が北海道付近を東進し、シアーラインが北～東日本を通過中。富山県では記録的短時間大雨情報を発表。
- ② 500hPa 5940m以上の上空の高気圧に対応する地上の高気圧が東シナ海付近にほとんど停滞し、別の高気圧が日本海を東南東へ移動。西～東日本を中心に晴れて猛暑日の所がある。また、西～東日本では非常に激しい雨を解析し、雷を検知、メソサイクロンを検出。
- ③ 低圧部が南シナ海にあって、ほとんど停滞している。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は15日夜にかけて千島近海へ進み、シアーラインは16日にかけて日本の東へ進んで不明瞭となる。低気圧やシアーラインに向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。東日本では15日は土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。北日本では15日は、東日本では16日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ② 1項②の高気圧は17日にかけて東シナ海～黄海付近に停滞。また、15日夜までに高気圧が日本の東で顕在化して日本の南に張り出す。本州付近では17日にかけて、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。日中の昇温や高気圧縁辺を回って流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。西～東日本では17日にかけて、北日本では16～17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ③ 1項③の低圧部の周辺や2項②の高気圧縁辺を回って流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。南西諸島では17日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ④ 500hPa 5700m付近のトラフに対応する低気圧が、17日は、サハリン付近からオホーツク海に北東進し、寒冷前線が北日本を通過する。前線へ向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～東日本では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ⑤ 西～北日本では地盤の緩んでいる所があり、土砂災害の危険度が高まりやすくなっている事に留意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。
- ③ 高潮(明日まで)：西～北日本では注意報基準を超過する所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。